

り＝人間関係づくり」が話題になったのです。その時、道徳教育の充実は言われたのですが、それは生徒指導や特活でやっておいて、みたいな軽い乗りで、やはり「個性重視」の波に押し流されてしまった経緯があるのです。

このような学級づくりの変化を見た時、今こそ、人間関係づくりを重視していかないといけないと感じるのです。

2 議題は集会活動に関するものだけでいい その2

下関市立名池小学校 梶田 崇晴

前号で、集会活動の意義についてまとめてみました。今回は、学級づくりと集会活動について触れてみます。

学級づくりをするにあたって大切だと言われていることはたくさんありますが、私が特に気をつけていたことは、次の2つのことでした。

その1：学級を魅力的な場所にする

その2：学級にリーダーシップとフォロアーシップを育てること

これらのことを詳しく見てみると、次のことが言えます。

◇学級を魅力的な場所にするための条件

- *学級の中に一人ひとりの子どもの居る場所がある。
- *自分の話を聞いてもらえる人がいる。
- *成員に自分が人の役に立っているんだという自覚がある。
- *そこに居ることが楽しい。
- *自分や学級集団が高まっていく。

◇学級のリーダー（フォロアー）シップを育てるための条件

- *集団の活動のめあてづくりに全員が関与し、共通理解させること。
- *集団の活動のめあてを到達するための方法を共有化すること。
- *活動にあたって、役割分担が出来ること。
- *メンバー間に心理的な結び付きや所属・連帯意識があること。
- *温かい集団規範があり、統制力を持つこと。
- *個人的な要求が充足されること。

これらのことを見てみると、すべて集会活動でクリアできるものばかりであることに気づかれたのではないのでしょうか。

集会活動には、このような機能もあるということを押さえておいてほしいと思います。

(次号に続く)

3 山口学級活動ネットワーク冬の学習会の感想

1月9日、恒例の冬の学習会を行いました。総勢50名弱の参加があり、たいへん盛り上げていただきました。参加された先生方から感想をいただきましたので、数回に分けてお知らせします。

* 松下先生の話は、とても熱さが伝わってきて勉強になりました。児童によりそって目標設定－実践－評価の必要性を改めて感じました。評価規準は学校としてきちんともっていただいた方がいいと感じ、〇〇小ではこんな感じで評価しています、みたいな事例発表や情報交換ができるとうれしいです。

午後の実践発表の3人の方の熱さもものすごく伝わってきました。

* 初めて参加させていただきました。とても楽しい実践ばかりで勉強になりました。

* 恥ずかしながら、これまで私は特別活動の評価についてあまり深く考えていませんでした。今日、先生方の実践発表をお聞きしたり、グループワークで考えを出し合ったりしたことで、こんな観点で、このように具体化していけばよいのかと、何となくですが、つかめた気がします。

今日の学習会で、特別活動に力を入れていくことは、直接学級経営につながるということを実感しました。

杉田先生のお話は、とてもわかりやすく、また感動的でした。

* (メール) こんばんは。日曜日は大変お世話になりました。

元気の出るような内容が盛りだくさんで、山口まで行った甲斐がありました！ 教師経験年数十数年にして初めて特別活動に目覚めたという感じです。(ちょっと遅すぎますね・・・) そのきっかけを与えてくださった梶田先生に心より感謝いたします。

来年もぜひ参加させていただけたらと思います。

内容ですが、どの先生の発表も、また杉田先生のご講話も大変わかりやすかったです。お話をお聞きして、自分がこれまで特別活動の評価をあまり深く考えてこなかったなあと反省しきりです。確かに在籍校でも、学校独自の評価の観点のようなものがあるのか否かもよくわからない状態です。(大まかなものはあったような。。) まずは子どもたちの実態に合わせて、学校独自の評価の観点を作成することが必要ですね。そしてそれは活用しやすいものでなければ意味がありません。

今後テーマにしていきたいことについてですが、やはり具体的な実践事例はお聞きしたいです。また、自分が本年度取り組んできたことに協同学習があり、主に国語科で実践してみたのですが、やはり話し合いの仕方等は学級活動でも並行して力をつけていかなければならないと思いました。また、グループでの話し合いについてもしかりです。個人的には、「協同学習の視点を取り入れた学活での話し合い活動の在り方」のようなことを勉強したいです。ぜひ今後とも学ばせていただけたらと思います。

* 初めて参加させていただきました。千葉から来て、本当によかったと思っています。先生方の熱い思いや実践はもちろんのこと、子どもたちの姿や自分の未熟さを感じるとと

もに、何をがんばっていけばいいのか、たくさんのことを教えていただきました。
年始めの忙しい中に企画していただきありがとうございました。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◆◆

現在の購読者は280名弱となりました。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メールリングリスト「学級づくり夢工房」◆◆◆

ネットワークでは、メールリングリスト「学級づくり夢工房」を行っています。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メールリングリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◆◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====